

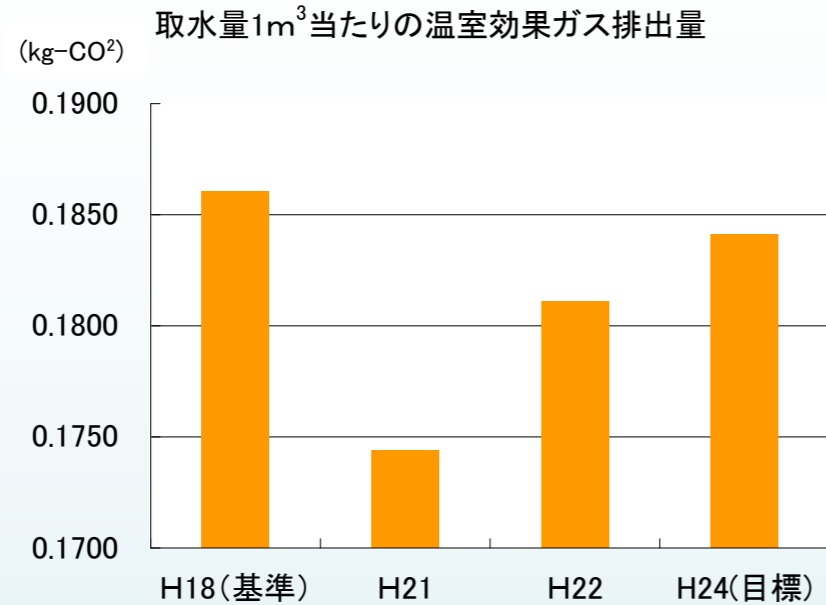
温室効果ガス削減の取組み

水道企業団では「第2次地球温暖化対策実行計画」で、CO₂をはじめとする*温室効果ガスの総排出量を、平成24年度までに平成18年度比で6.0%削減すること、また、取水量1m³当たりの温室効果ガスの排出量を平成24年度までに平成18年度比で1.0%削減することを目標としています。

水道企業団の事業活動により排出される温室効果ガスの99%以上がCO₂で占められており、温室効果ガス削減のためには、CO₂の削減が最も重要です。



水道企業団キャラクター
ウォータービー



項目	H18(基準)	H21	H22	H24(目標)
取水量(m ³)	391,352,600	397,807,800	336,147,300	438,328,496
取水量1m ³ 当たりの温室効果ガス排出量(kg-CO ₂)	0.1860	0.1744	0.1811	0.1841
温室効果ガス総排出量(kg-CO ₂)	72,804,445	78,818,561	63,526,257	68,436,178

※ 温室効果ガスとは

地球温暖化の原因となる気体であり、法に基づき排出量を把握する対象となるものは、次の6種類の物質です。

温室効果ガスの種類	主な発生源	企業団での主な発生源
二酸化炭素(CO ₂)	産業、民生、運輸部門などにおける燃料の燃焼に伴うものが全温室効果ガスの9割程度を占め、温暖化への影響が大きい。	電力及び燃料の使用
メタン(CH ₄)	稲作、家畜の腸内発酵などの農業部門から出るものが半分以上を占める。	自動車の走行、ガス・ガソリン機関での燃料使用
一酸化二窒素(N ₂ O)	燃料の燃焼に伴うものや農業部門からの排出がそれぞれ3~4割を占める。	自動車の走行、ガス・ガソリン機関での燃料使用
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	エアゾール製品の噴射剤、カーエアコンや冷蔵庫の冷媒、断熱発泡剤などに使用する。	カーエアコンの使用・廃棄
パーフルオロカーボン(PFC)	半導体等製造用や電子部品などの不活性液体などとして使用する。	該当なし
六ふっ化硫黄(SF ₆)	変電設備に封入される電気絶縁ガスや半導体等製造用などとして使用する。	電気機械器具の使用・廃棄

再生可能エネルギー利用促進による、さらなるCO₂削減について

水道企業団では導水、送水の落差を利用した小水力発電や、太陽光発電といった再生可能エネルギーの利用を行っています。これらにより、平成22年度はCO₂632tの削減効果を生み出しました。

今後も再生可能エネルギー利用を促進し、環境保全に努めます。

編集・発行 平成24年3月

特別地方公共団体
神奈川県内広域水道企業団 総務部総務課

〒241-0811
横浜市旭区矢指町1194
TEL045-363-2049 FAX045-363-1121
URL <http://www.kwsa.or.jp>

環境報告書 2011

Environmental Report 2011

神奈川県内広域水道企業団では、「安全で良質な水道水を送り続けるトップレベルの広域水道」を目指すべき将来像として掲げ、6つの実現目標のうち、1つを環境施策目標として「地球環境の保全」を掲げています。

水道企業団は、安全で良質な水道水を送り続けるため、水源保全の取組みを関係団体と協力して行うとともに、良好な水環境を将来にわたって維持していくため、CO₂排出量の削減などの地球規模の環境保護の取組みを行っていきます。

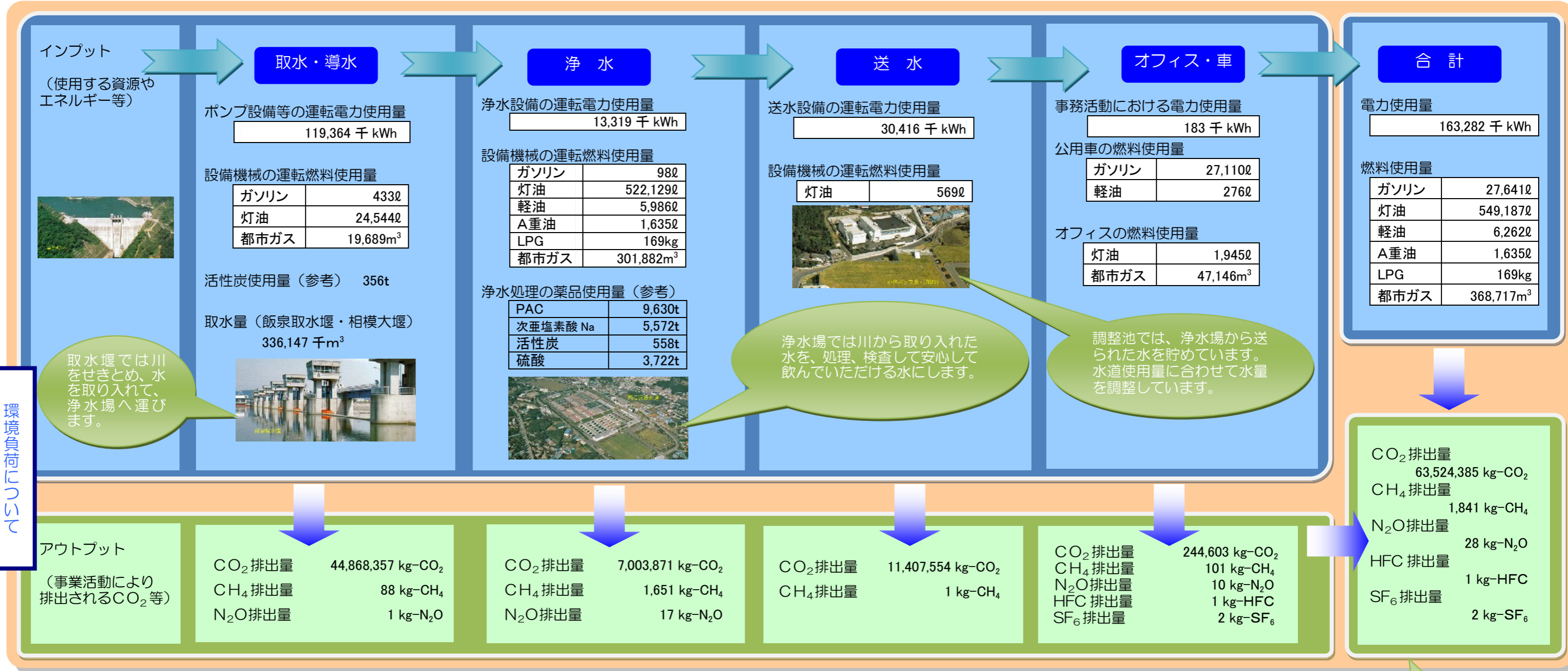
特別地方公共団体

神奈川県内広域水道企業団

新緑の中津川

水道水が届くまでの環境負荷と主な環境施策（平成22年度）

この図は、水源から構成団体に水道水を届けるまでの環境負荷のプロセスフローです。環境保全の取組みについても紹介しています。



再生可能エネルギー利用の促進

小水力発電
(年間発電量 1,486,540kWh)
矢指調整池入口と相模原浄水場着水井に小水力発電設備を設置し、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。

太陽光発電 (平成23年2月28日運用開始)
(年間発電量 254.4kWh)
伊勢原浄水場では、沈でん池及びろ過池の一部に設置する覆蓋上部に太陽光発電設備を設置して、自然エネルギーの利用を図っています。

浄水場発生土のリサイクル
浄水処理で発生するスラッジは濃縮、脱水、乾燥(一部)の工程を経た後、その大半を園芸用土として利用しています。農業・園芸利用以外の利用についても検討を進めています。

河川保全への協力
水源であるダム周辺地域の環境保全に地域振興協力基金や振興財団を通じた協力のほか、ダムに係る国有資産等所在市町村交付金などを負担しています。また、魚道・ピオトープの適正管理、広報活動にも努めています。

低公害車導入の促進
低公害車の導入を積極的に進めています。

車種	低公害車		その他	合計
	区分	台数		
ハイブリッド車	超	2	-	2
	優	16		
	良	12		
ガソリン車	優	12	3	34
	良	3		
合計		33	3	36
低公害車導入率	91.7%			

温室効果ガス排出量は前年度比で、15,292 t 減少しました。

取水量 1m³ 当たりの温室効果ガスは前年度比で、1% 増加しました。

主な環境保全